



アイエックス・ナレッジ株式会社

JASDAQ(9753)

**2008年3月期**


**決算説明会**

2008年5月26日

---

## ご説明内容

- 2008年3月期 決算の概要
  - 2009年3月期 業績の見通し
  - 中期展望について
-



**2008年3月期  
決算の概要**

## ■ 2007年

- 4月 新子会社「アイエックスときわテクノロジー」発足
- 4月 教育事業を子会社「IKIアットラーニング」へ移管
- 4月 インド 社より人材(研修)受入
- 9月 人材育成支援システム「IKIキャリア」稼動
- 9月 「日本経済団体連合会」に加盟

## ■ 2008年

- 1月 内部統制を含む事業構造改革スタート

## ■市場環境

- マクロ景気は上期順調、下期は不透明感拡がる
- 大手メーカー、ベンダーの発注量は期を通して堅調
- 技術者不足が一段と深刻化

## ■当社グループの対応

- 引合増え、受注体制を強化。技術者確保に注力  
(協力企業・社内調整)
- 利益重視の慎重な戦略受注を継続

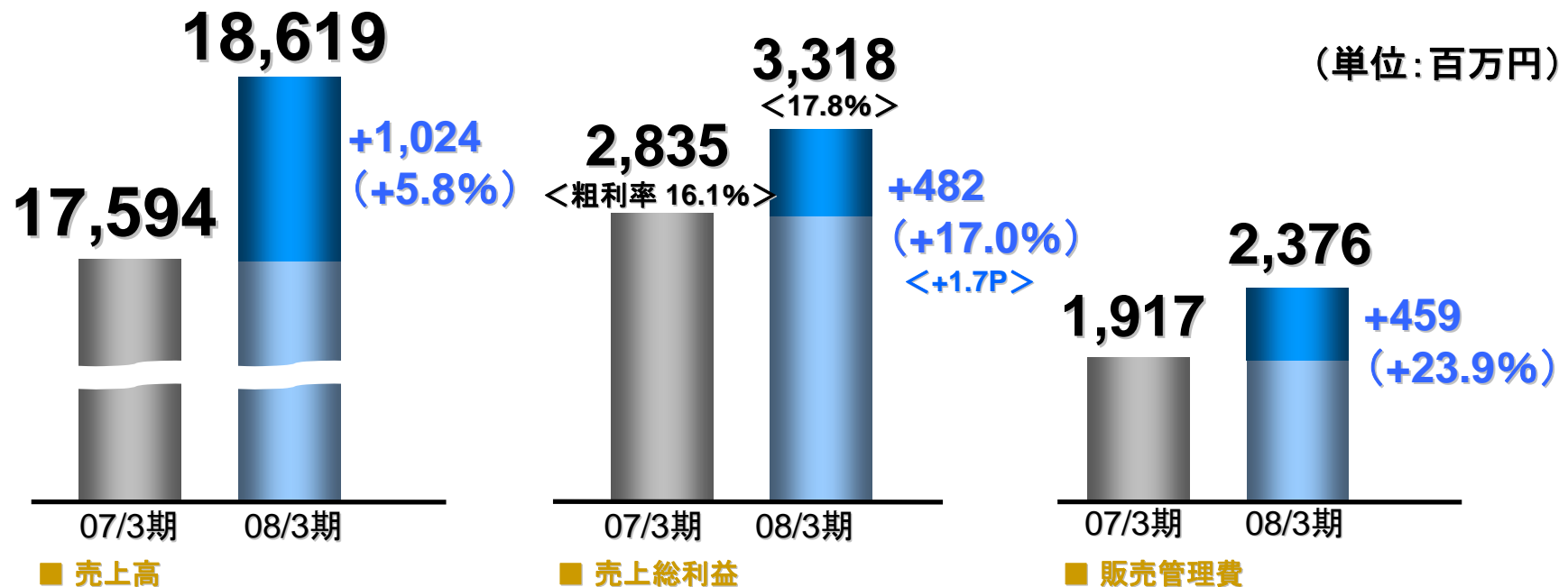
(単位:百万円)

	08/3期	中間期 予想	中間期 予想比	07/3期	前期比
売上高	<b>18,619</b>	19,016	-2.1%	17,594	5.8%
売上総利益	<b>3,318</b>	3,466	-4.3%	2,835	17.0%
総利益率	17.8%	18.2%	-0.4P	16.1%	+1.7P
販管費	<b>2,376</b>	2,408	-1.3%	1,917	23.9%
営業利益	<b>942</b>	1,058	-11.0%	918	2.6%
経常利益	<b>978</b>	1,101	-11.2%	930	5.2%
特別利益	<b>9</b>	9	-	2	-
特別損失	<b>28</b>	26	7.7%	20	40.0%
当期純利益	<b>575</b>	603	-4.6%	506	13.6%

※連結対象子会社:株式会社アイエックスときわテクノロジー、アイケーネット株式会社

 **利益は過去最高水準に**

- 合併効果により売上拡大
- プロジェクト管理強化等により利益率は向上
- 子会社の合併などで販管費増加

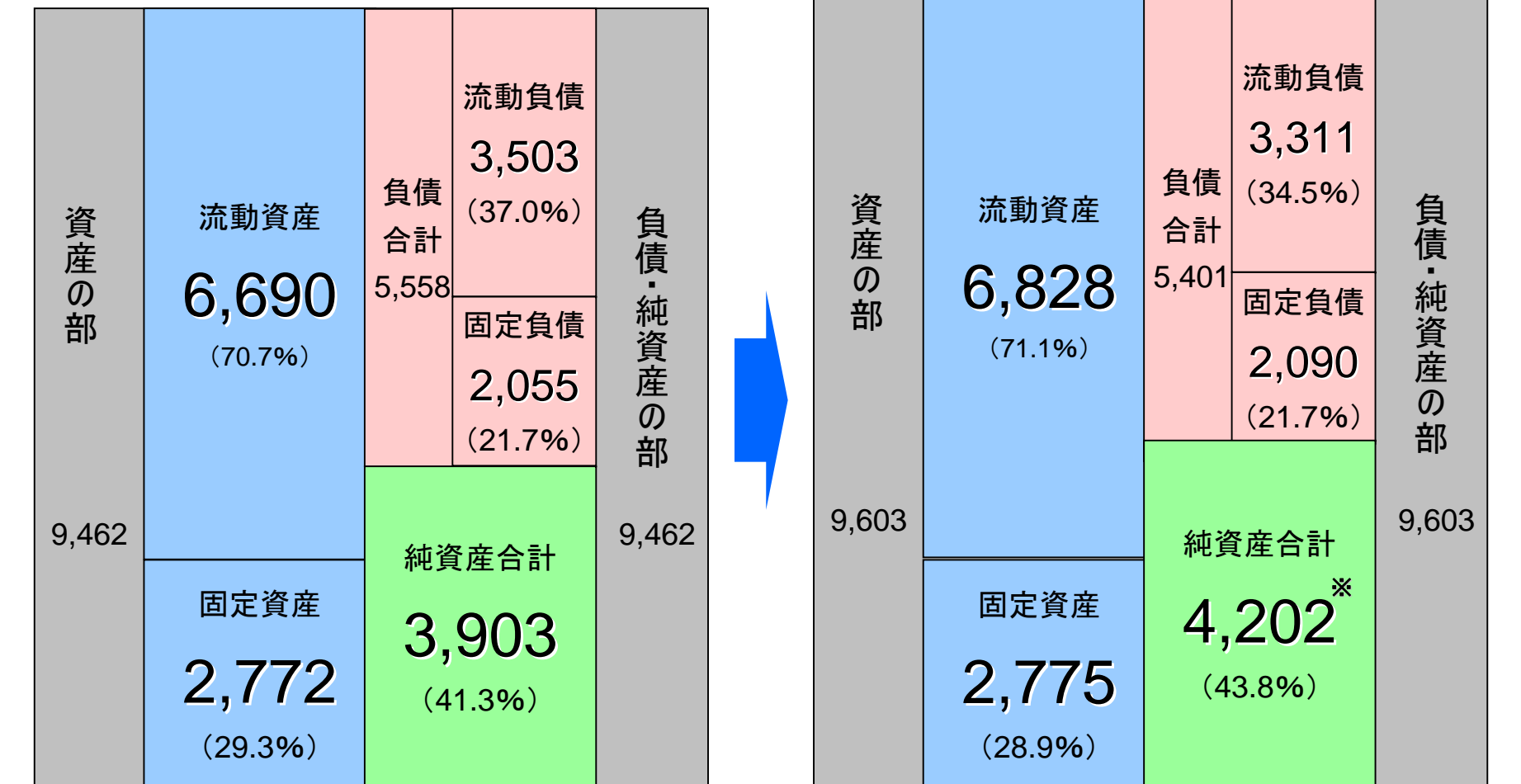


# 貸借対照表

■ 2007年3月31日

■ 2008年3月31日

(単位:百万円)

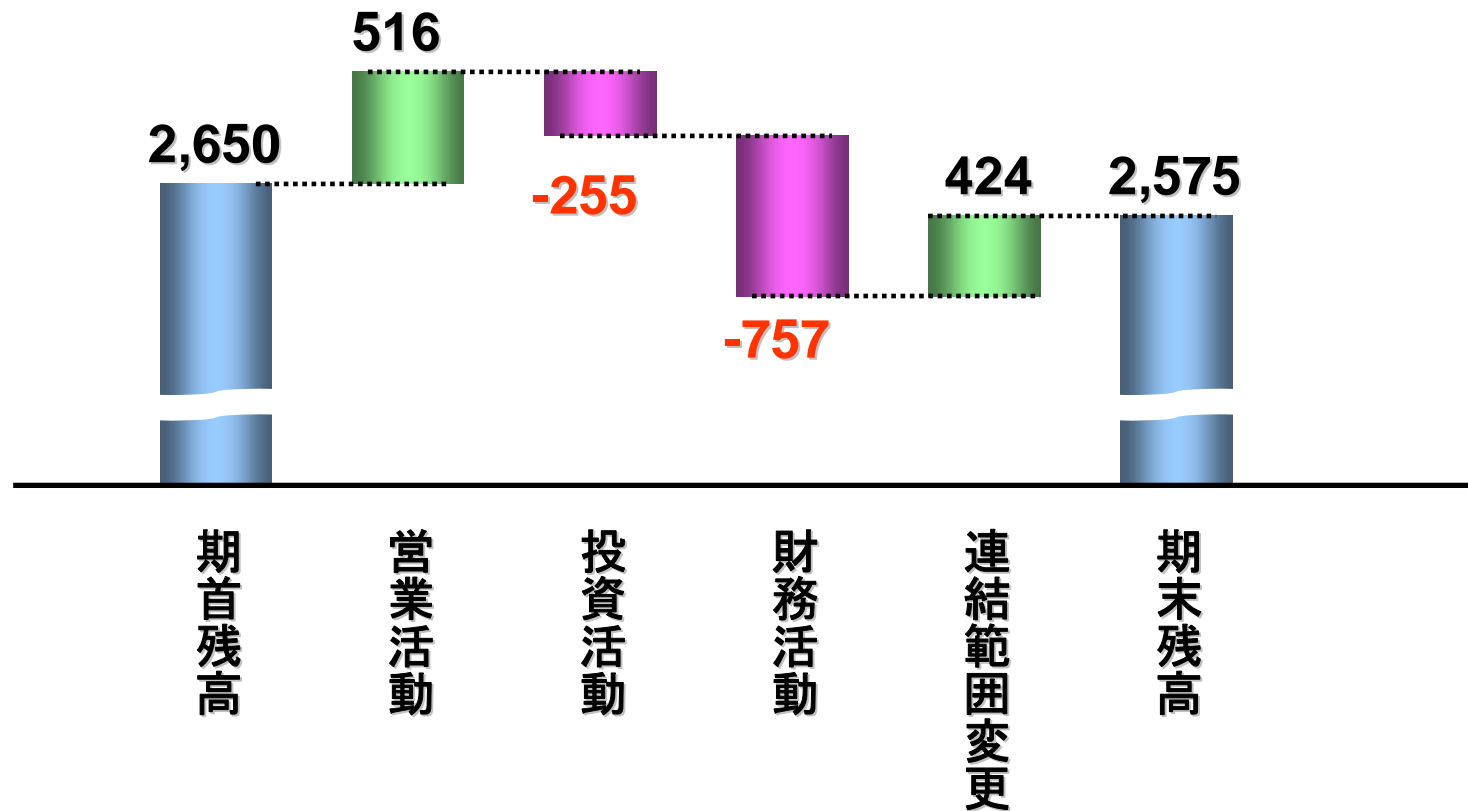


※ 少数株主持分を含む

➡ 財務内容改善(純資産比率 41.3→43.8%)

■ 07年4月1日～08年3月31日

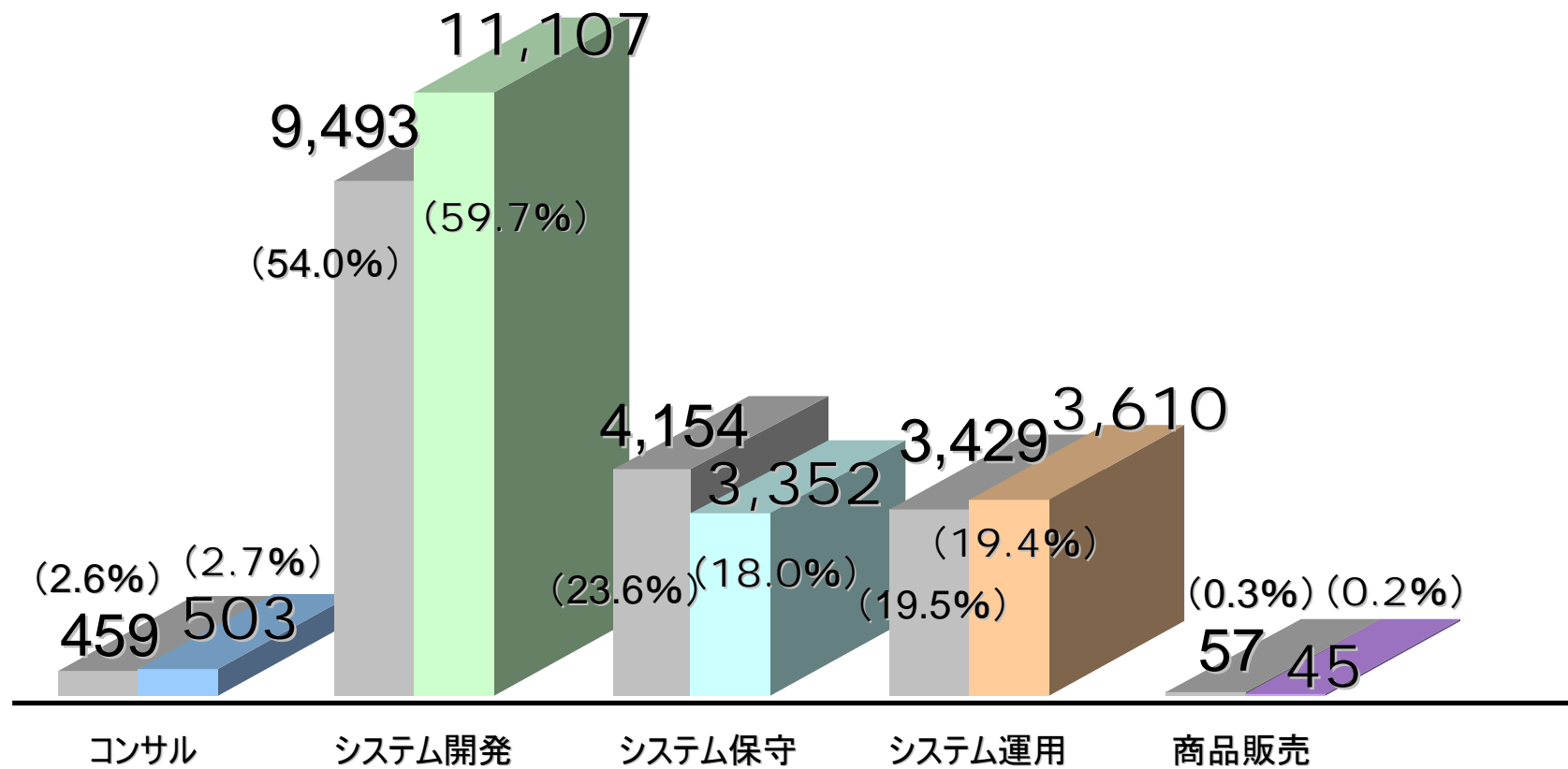
(単位:百万円)



# 2008年3月期 サービス別売上

(単位:百万円)

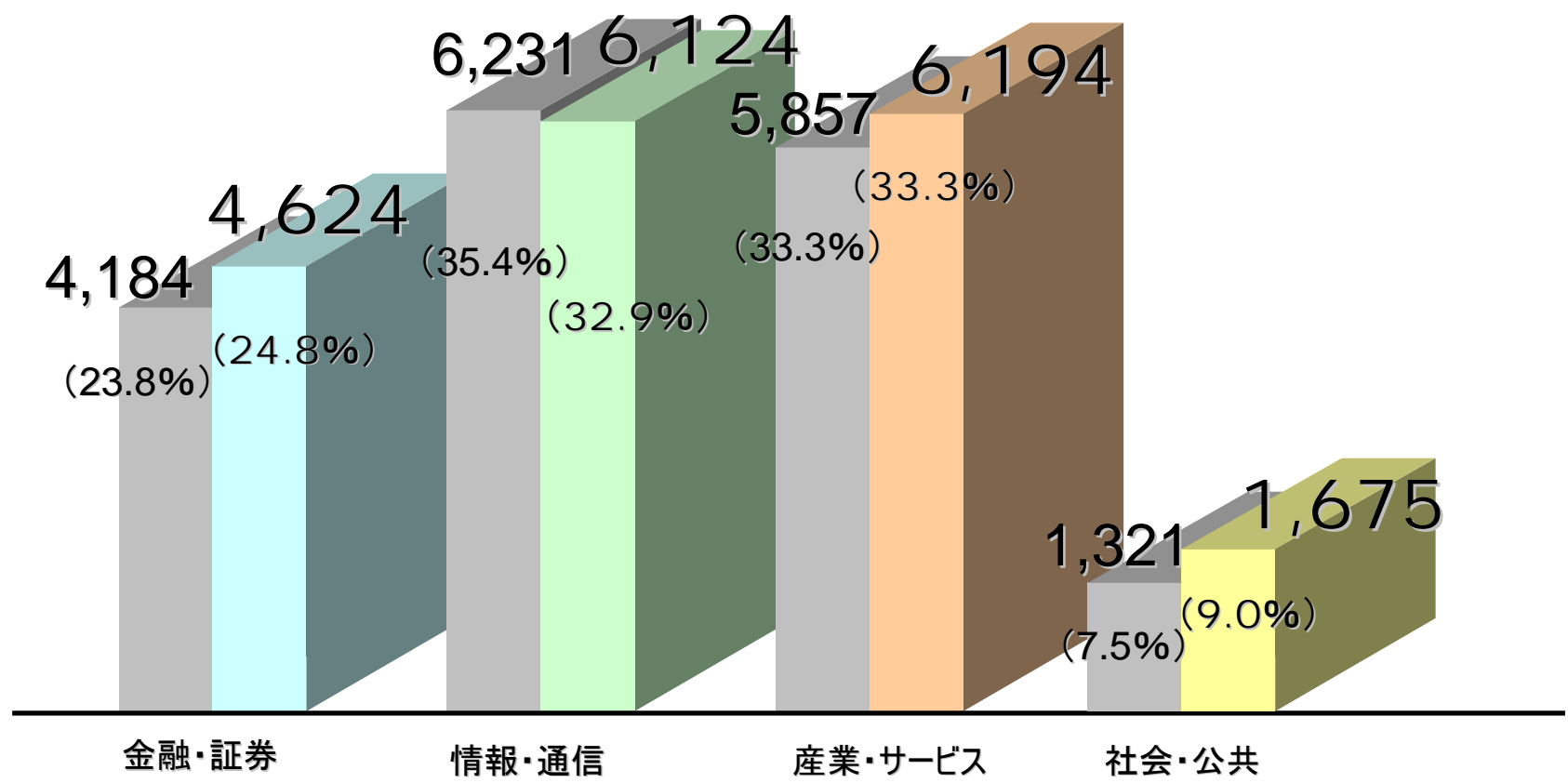
07/3月期



# 2008年3月期 市場別売上

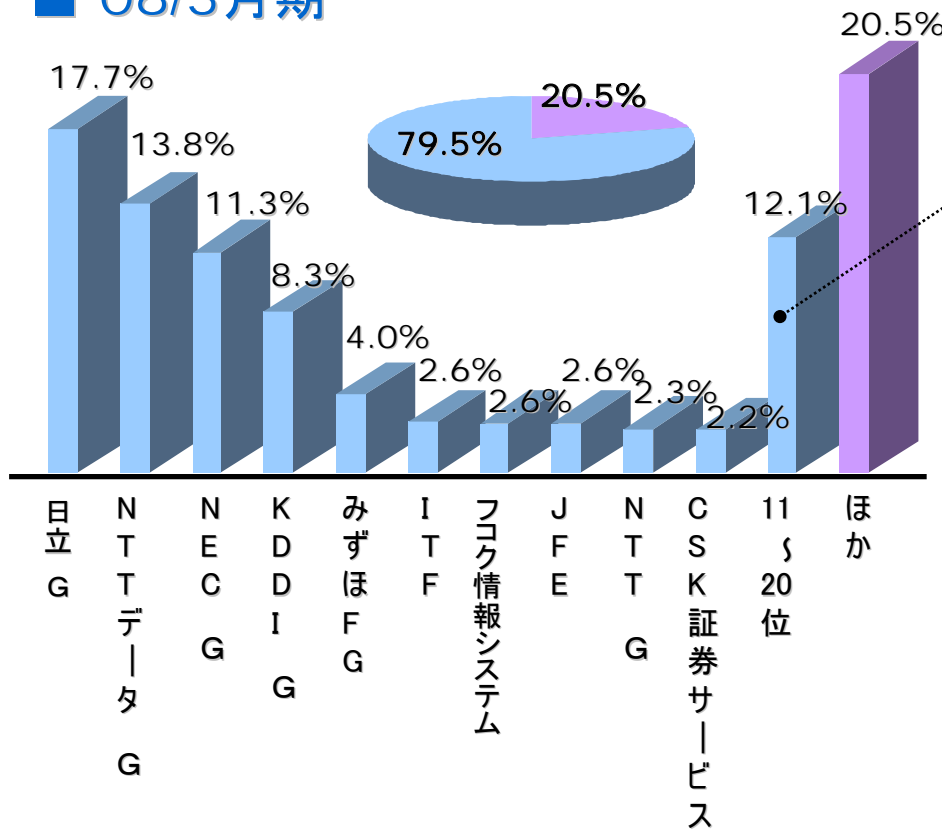
(単位:百万円)

07/3月期



# 顧客別売上構成(単独)

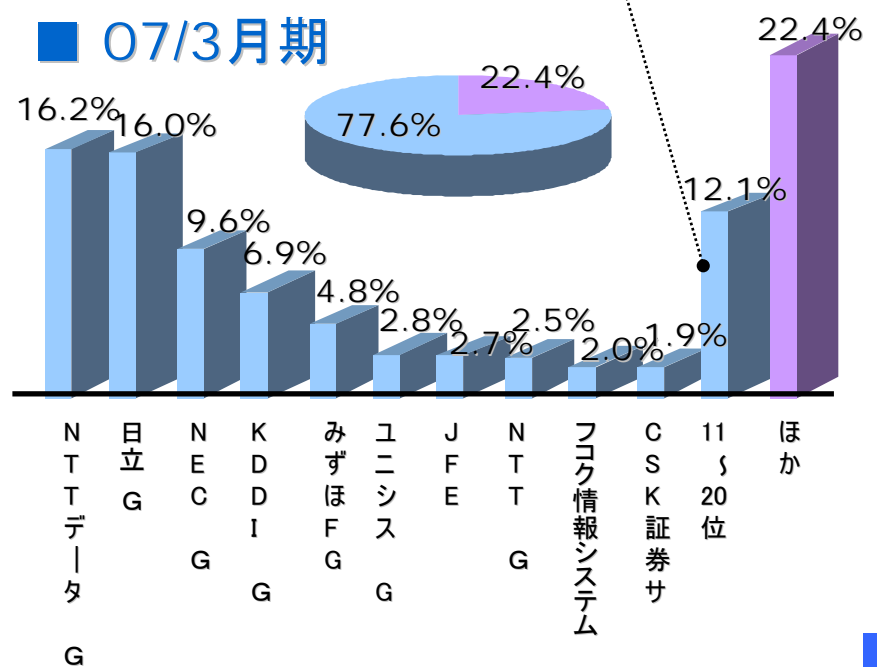
## 08/3月期



- ・ユニシス G
- ・三菱東京UFG
- ・テクノアソシエ
- ・ISID G
- ・さくら情報システム
- ・科学技術振興機構
- ・新日鉄 G
- ・三井倉庫 G
- ・菱化システム
- ・住生コンピューターサービス

- ・ITF
- ・ISID G
- ・日本電子計算
- ・さくら情報システム
- ・科学技術振興機構
- ・IBM G
- ・菱化システム
- ・三井倉庫 G
- ・富士通 G
- ・住生コンピューターサービス

## 07/3月期





**2009年3月期**  
**業績見通し**

## 金融・証券

- 証券・先物取引システム開発
- 証券系 ASPサービスシステム
- 生保系 システム開発・保守
- 地銀系 システム開発

## 情報・通信

- システム検証サービス
- 携帯電話料金計算システム開発
- キャリアNGN (Next Generation Network)
- 衛星通信機関向け販売管理システム構築

## 産業・サービス

- 組込ソフト開発 (RAID、カーナビなど)
- 出版社 情報サイト開発
- 自動車部品 生産管理システム開発
- 化粧品 工場新生産システム開発
- 旅行 販売管理システム開発

## 社会・公共

- 税関 次期システム運用
- 県警 システム構築
- 博物館 システム開発・保守
- 都市ガス 請求システム維持管理
- 原子力機関向け技術計算等

● はグループ会社案件

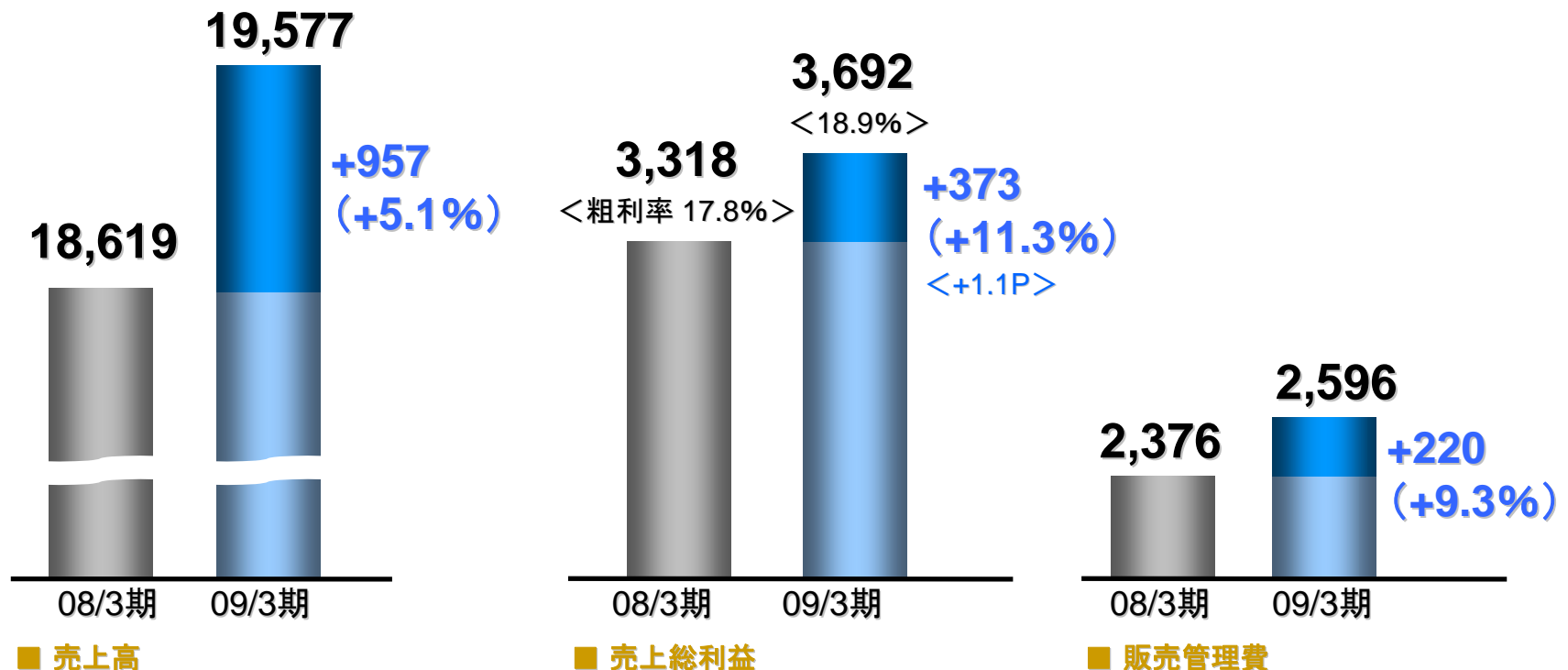
(単位:百万円)

	09/3期予想	08/3期	前期比
売上高	<b>19,577</b>	18,619	5.1%
売上総利益	<b>3,692</b>	3,318	11.3%
総利益率	<b>18.9%</b>	17.8%	+1.1P
販管費	<b>2,596</b>	2,376	9.3%
営業利益	<b>1,095</b>	942	16.3%
経常利益	<b>1,121</b>	978	14.7%
当期純利益	<b>602</b>	575	4.7%

※連結対象子会社:株式会社アイエックスときわテクノロジー、アイケーネット株式会社

(単位: 百万円)

- 売上: 新規案件の受注拡大と仕掛けり案件など
- 粗利: 高スキル案件への対応で実質単価アップ
- 販管費: 採用や教育など人材確保・育成に注力



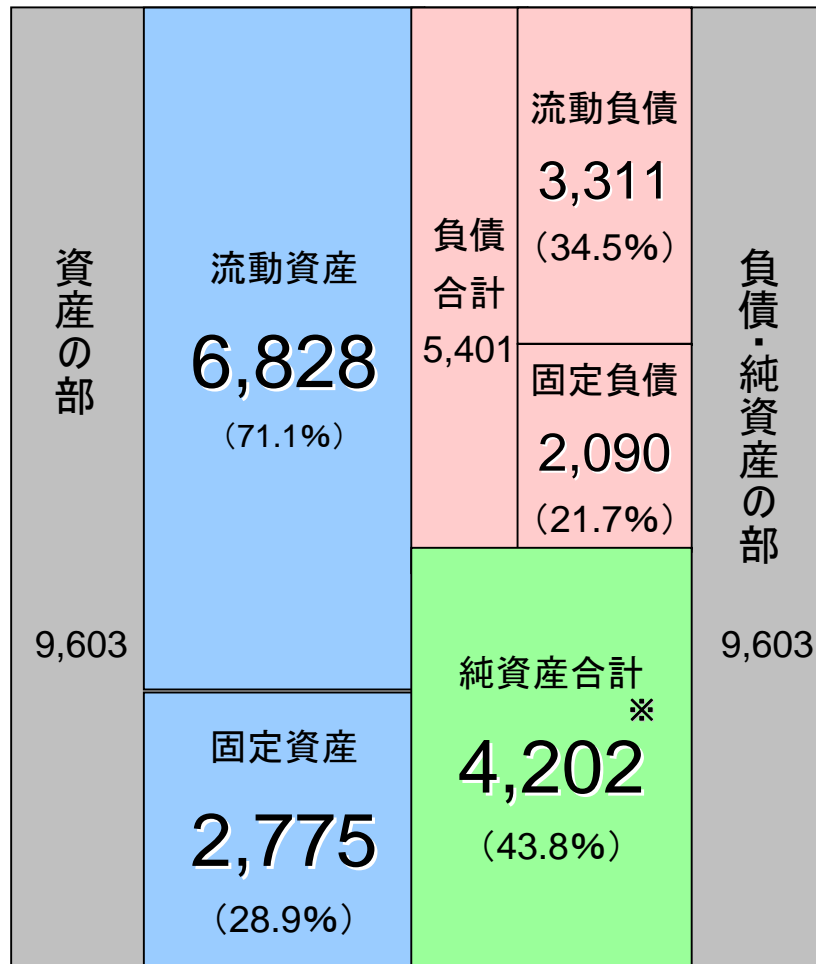
(単位:百万円)

社名	社員数	出資率	業 績			
			営業期	売上高	経常利益	純利益
アイエックス・ナレッジ(株)	1,287名	-	08/3期	15,705	856	504
			09/3期	16,177	941	529
			前期比	3.0%	9.9%	5.0%
(株)アイエックスタイムテクノロジー システム開発主体/科学技術計算	244名	76.8%	08/3期	2,446	72	45
			09/3期	2,800	128	61
			前期比	14.5%	77.8%	35.6%
アイケーネット(株) コンサルティング/システム開発	24名	90%	08/3期	792	6	6
			09/3期	800	28	28
			前期比	1.0%	366.7%	366.7%

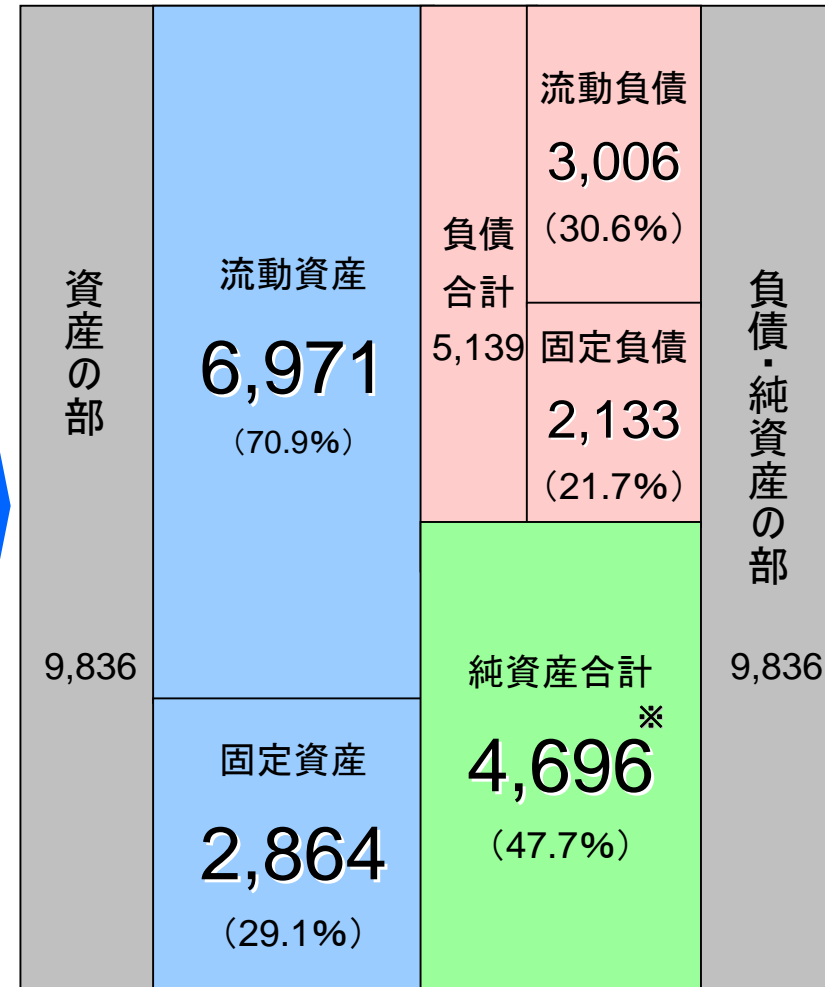
# 予想貸借対照表

(単位:百万円)

## 2008年3月31日



## 2009年3月31日



※ 少数株主持分を含む



# 中期展望について

---

事業構造改革の一環として…

<テーマ>

# 新たな飛躍へ!

“GOOD COMPANY”から“GREAT COMPANY”へ

<指標> 2011年3月期

■収益

■売上高: **225**億円

■粗利率: **20**%

■営業利益率: **7.7**%

■グループ社員

■社員数: **1700**名以上(純増200名)

■PM数: **220**名(倍増)

## ■ 事業環境

- 市場は引き続き引合活発だが先行き不透明な状況も
- 上級・ハイスキルの技術者不足と人材の流動化
- 内部統制、法令(下請法や派遣法)改正など規制強まる
- 中国、インドなどの急成長IT企業による影響が具体化

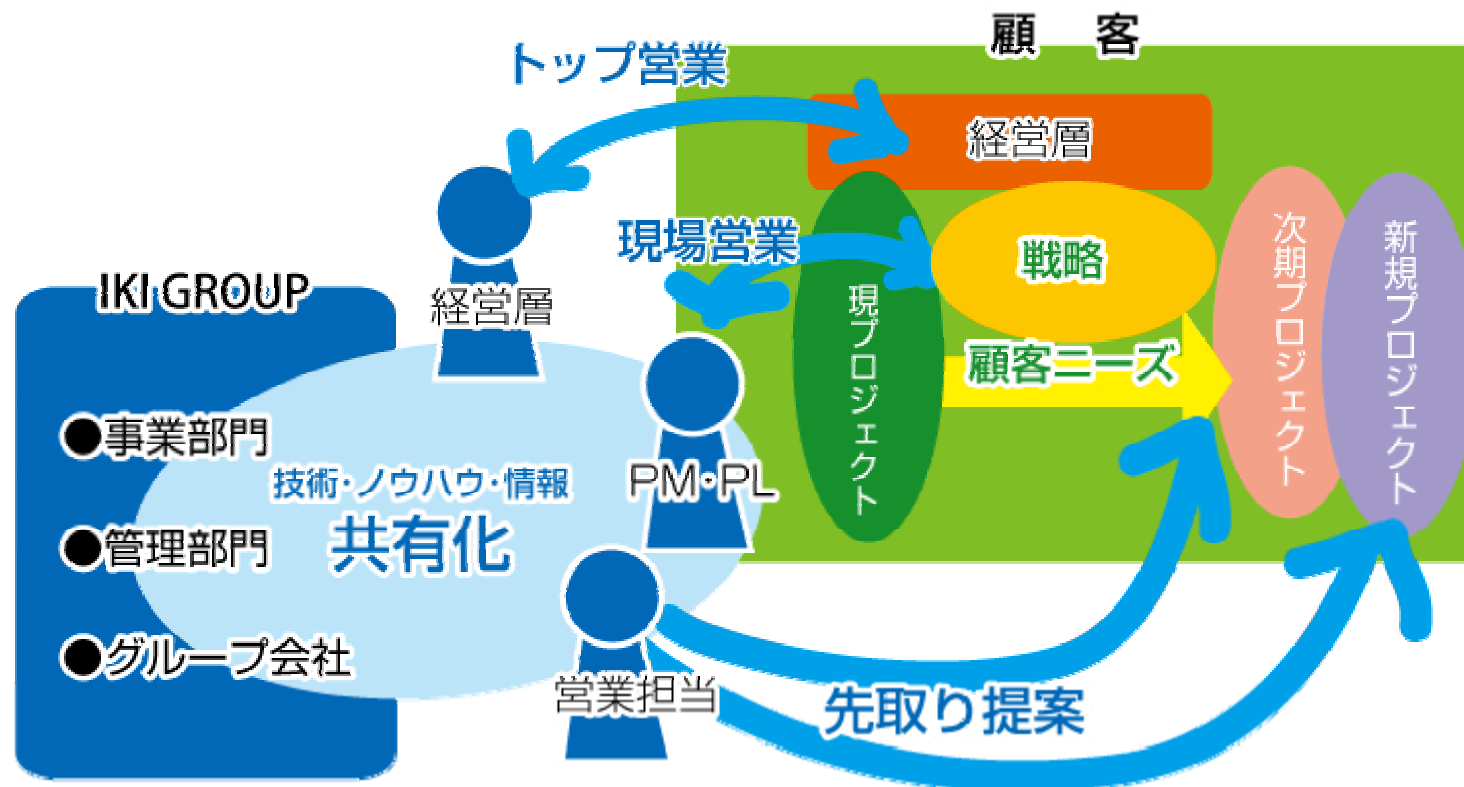
## ■ 重点課題

- 優良顧客と実績の強み活かす組織的営業推進力の形成
- スキル・ノウハウをもつプロパー社員技術者の育成・増員
- 法令規制に準拠し技術者不足に対応する有力BPの確保
- 新興国系企業との連携によるIT人材採用への取り組み

## ■ コアユーザーの深耕（継続・新規案件）

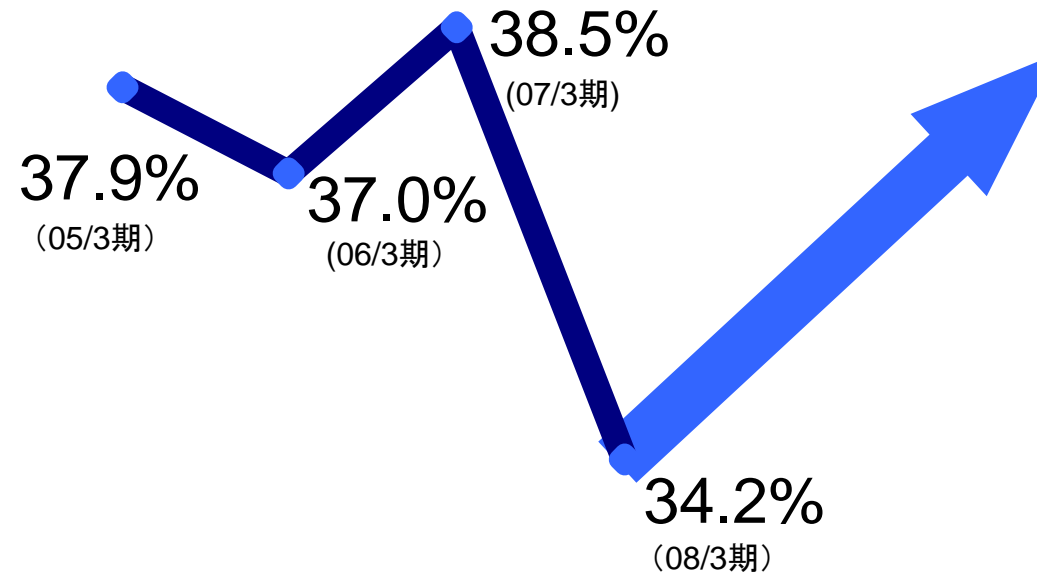
- コアユーザーの戦略方向性を的確に捉え「先取り営業・事業」を推進
- トップ経営層を含めて、ユーザー戦略分析のための情報交換・営業活動
- 事業部横断の情報交換
- PM・PLを中心とした開発現場での営業展開

⇒ 顧客上位20社（グループ）で全売上の80%以上を売り上げ、収益の安定的拡大を図る



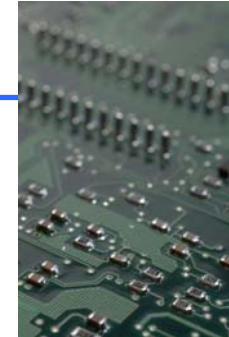
## ■ 一括案件の比率増加を

- 実践的な技術者育成のために
- BP、海外技術者の効率活用
- ベンダー系顧客からのニーズ高まる



## ■エンベデッド(組込)開発

ストレージや車載製品、デジタル家電、OA機器など、ソフト開発から評価までをトータルのサポートします。



## ■システム検証サービス

システム品質の妥当性を第三者的な立場で確認し、業務要件の実現性・操作性など実運用の適合性をユーザーに代わって検証し、その品質状況をレポートします。



## ■テクニカルサポートセンター

各種システム利用での問合せ・障害などに、オンサイトまたは当社サポートセンターよりリアルタイムで対応します。



## ■ プロパー社員採用の拡大

### ■ 新卒定期採用の拡大

地方の大学・専門学校・高校等へも攻勢

### ■ 中途採用の本格化

経験者に限らず、未経験者の採用に重点

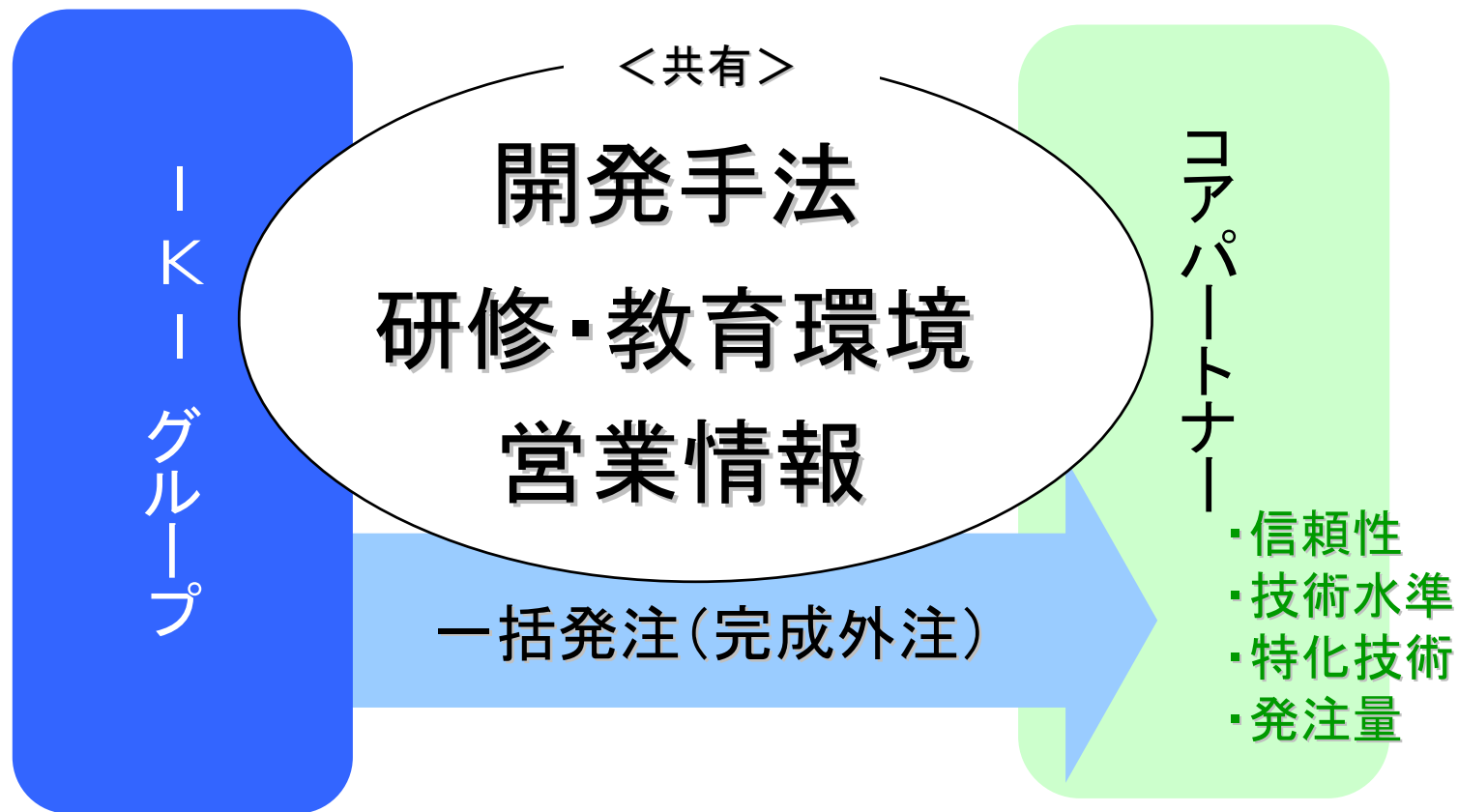
### ■ 地方有力企業との提携

社員技術者交流など

### ■ 海外からの採用

中国・インド等の企業や教育機関との連携

## ■コアパートナーの組織化



## 企業理念：情報サービスを通じて人と社会の豊かさに貢献する

- 独立系で存在感ある企業グループとして活動する
- しっかりとしたモノづくりと高品質のサービスを提供する
- 人間力・現場力に優れた「人財」の育成に注力する
- 社会とともに歩む企業市民として社会的責任を果たす

# 新たな飛躍へ!

“GOOD COMPANY”から“GREAT COMPANY”へ

※本資料に記載の次期の売上高等予想数値は、現時点での経営状況に基づくもので、実際の数値とは異なる可能性がありますことをご了承願います。